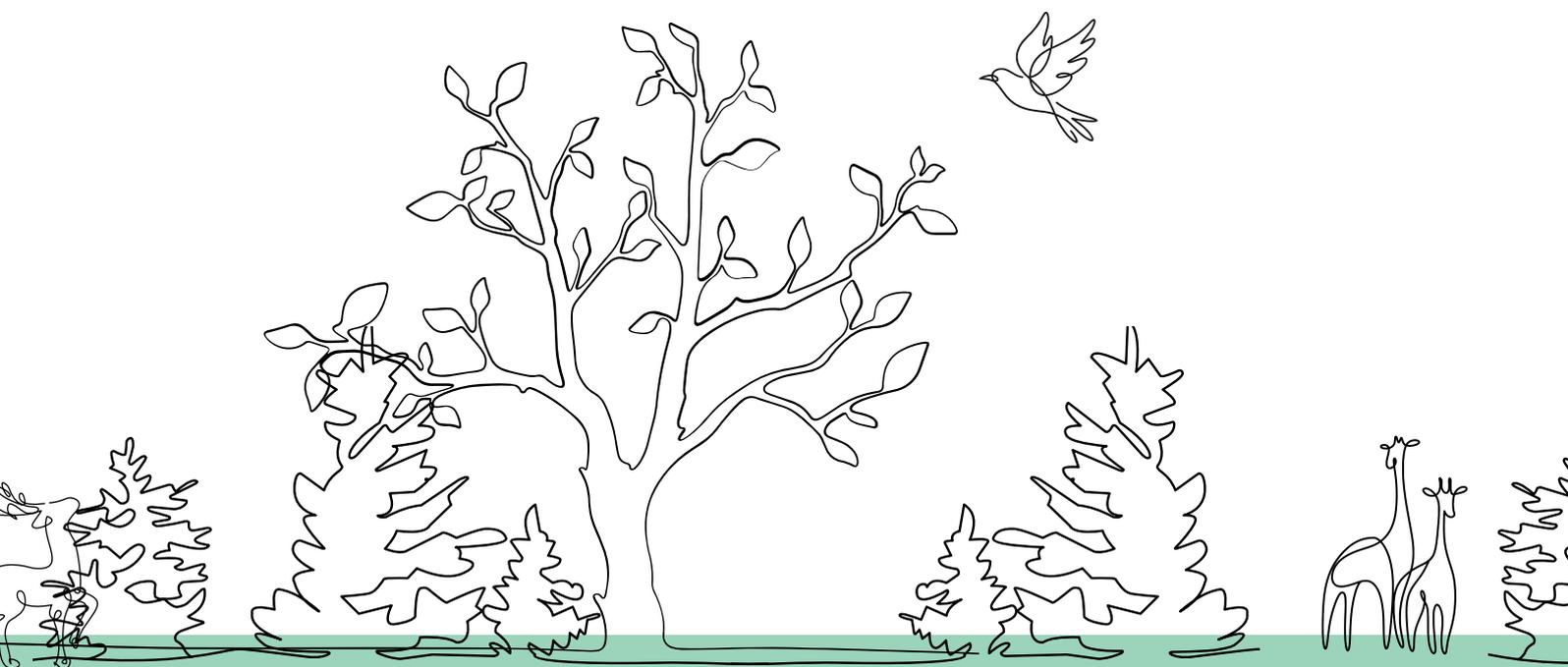


# JEEF News LETTER 2025

誰ひとり取り残さない環境教育・自然体験  
寄付金活用 活動報告書



# 寄付金活用の取り組み

2025

- 誰ひとり取り残さない  
環境教育・自然体験を提供するために -



## 概要

自然の中で思いきり遊ぶことは、子どもの感性を育む大切な時間です。さらに、大人にとってもストレス軽減など癒しの効果をもたらす重要な機会です。

しかし、家庭の経済状況や日々の忙しさなど、さまざまな事情から自然にふれる機会を持ちにくい方々もいます。経済的な理由だけでなく、時間や気持ちの余裕など、目に見えにくい壁も少なくありません。

私たちは、自然体験は本来、年齢や障がい、家庭環境、住んでいる地域に関わらず、すべての人にひらかれているものであってほしいと考えています。

皆様からの寄付金を通し、一人でも多くの方が自然とふれあえる場をつくり、自然体験を「特別なこと」ではなく「当たり前のこと」としていくための環境づくりを、私たちは進めていきます。



## ● なぜ体験が必要なのか

風の音に耳をすませたり、土に触れたり、季節の変化を感じたり。そうした五感を使った体験は、子どもたちが世界を知り、自分自身や周囲との関係を育んでいくための原点です。

国立青少年教育振興機構の「青少年の体験活動等に関する意識踏査（令和4年度調査）」では、キャンプや川遊びといった自然体験が豊富な人ほど、自律性・積極性・協調性などの自律的行動習慣が育まれており、精神的健康度や自己肯定感が高い傾向がみられます。また、環境省のウェブサイトでも、森林浴によるストレスの緩和等の心身への健康にも効果がみられることが示されています。

自然にふれ、感じ、学ぶ機会を持てること。その積み重ねこそが、人と自然がよりよい関係を築いていくための土台になります。



【実績】

17 地域  
のべ約 468 人

キトウシ・美瑛こどもキャンプ ▶P.6

森で学ぶサステナビリティ  
in鳴子 ▶P.15

森で学ぶサステナビリティ  
in清里 ▶P.15

ウィンターキャンプ2025 ▶P.8

春日山プログラム

奥多摩の森で過ごす  
～親と子のわくわくキャンプ ▶P.7

大人のプチ遠足  
～花とジビエとサステナビリティ ▶P.16

【BBQの聖地】で楽しむ  
ウェルビーイング  
アウトドア体験 ▶P.17

発達凹凸自然体験教室  
なないろの冒険 ▶P.?

ユニバーサルビーチプロジェクト ▶P.10

屋久島おやこキャンプ ▶P.11

〈全国開催〉

探究ワークショップ  
キャラバン ▶P.12

はじめての自然学校 ▶P.13

〈オンライン開催〉

オンライン  
生きものクラブ ▶P.14

● …ひとり親世帯、生活困窮世帯の子どもたち、障害を持つ子どもたちも参加できる自然体験活動、社会体験活動を推進

● …重い病気と闘う子どもたちに楽しい学びの機会を提供

● …ストレス社会で日々頑張る大人のための癒しの機会を提供

● … ● と ●



# 活動報告



# キトウシ・ 美瑛こどもキャンプ

実施回数：2回

場所：北海道旭川市・美瑛町内  
「国立大雪青少年交流の家」

参加人数：1回目：20名  
2回目：18名

## 概要

旭川近郊に暮らす子どもたちが、北海道の豊かな自然環境の中で過ごしながら、自然と人とのつながりを体感し、主体性や協調性を育むことを目的とした1泊2日のキャンプを実施しました。キャンプファイヤーやエゾシカの角を使ったペンダントづくりなど、楽しみながら野外で安全かつ快適に過ごす方法を学び、また、はじめましての友だちと関係を築き

ながら主体的に動く力をつけた2日間でした。

▼詳細はこちら



### 共催

NPO法人  
大雪山自然学校



ツリーハウスの頂上を目指して



火の神様から火の粉を伝授！



シカの角からクラフトづくり～完成後の達成感は気持ちいいね

# 奥多摩の森で過ごす ～親と子のわくわくキャンプ～

実施回数：1回

場所：東京都奥多摩町

アースマンシップフィールド

参加人数：9組19名の親子

## 概要

様々な事情により自然体験の機会が限られている子どもたちのために、多忙な日々を送るひとり親家庭の親子を対象として、奥多摩の水源林でキャンプを実施しました。アースマンシップの奥多摩フィールドで、食事は全員で楽しく作り、テントで寝ます。地域の自然を守るため、自然に負荷を与えない“ロー・インパクト・キャンプ”を行いました。

子どもにとっては野外調理や焚火、溪流遊び、森のぶらんこなど東京とは思えない豊かな自然を満喫する機会となりつつ、大人だけのゆっくりした時間も過ごせる2日間となりました。

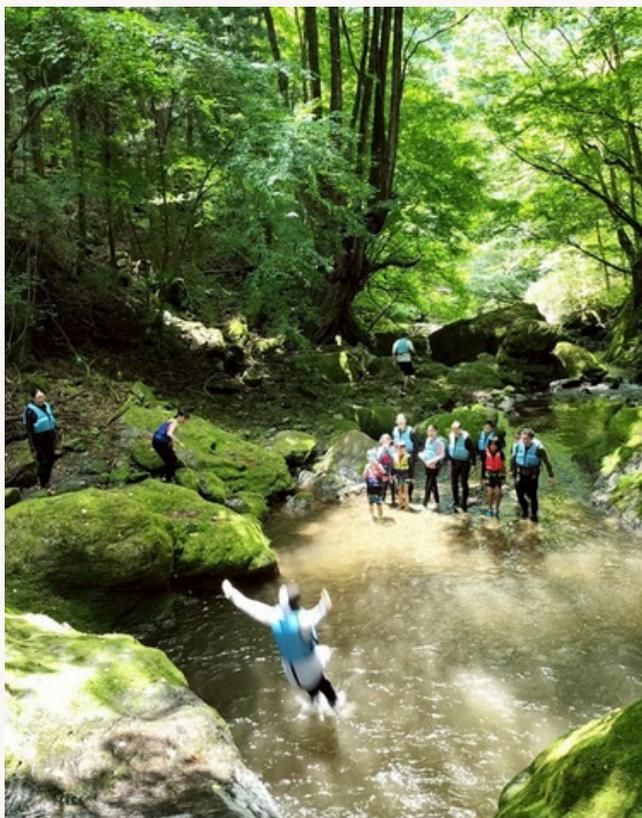
▼詳細はこちら



### 共催

認定NPO法人

アースマンシップ



ここが東京ということを忘れるダイナミックな自然！



生きものを探して、この真剣な表情



初めてのマッチ！火付けのコツを教わります

# ウィンターキャンプ 2025

実施回数：1回

場所：大阪府立少年自然の家  
(大阪府貝塚市)

参加人数：28名

## 概要

様々な事情により自然体験の機会が限られている子どもたちのために、関西圏のひとり親家庭の子どもたちを対象に、1泊2日のウィンターキャンプを実施しました。ウォークラリーや野外炊事、キャンプファイヤー、ハイキング、クラフトなどの体験活動を行いました。子どもたちのみが参加する形式とし、保護者にとっては一時的なレスパイト（休息）

の機会となることも目指しています。あわせて、本事業を通じて体験格差解消に向けた取り組みの有効性や意義について検証・研究を進めています。

▼詳細はこちら



共催

大阪体育大学野外活動部



牛乳パックの中にアルミホイルで巻いたホットドッグを入れて、パックが燃え切ったら食べごろに



キャンプリーダーを務めた大阪体育大外野外活動部



キャンプファイヤー。歌って踊って楽しい時間に

# 発達凹凸自然体験教室

## ～なないろの冒険

実施回数：1回

場所：静岡県富士山北麓

参加人数：8組22名の親子

### 概要

「なないろの大冒険」は、発達障がい個性として捉え、子どもと保護者が自然体験を通して互いの新たな一面に気づくことを目的とした活動です。富士山麓を舞台に、洞窟探険や森歩き、川遊び、たき火、里山ウォークラリーなど四季を通じた体験を各回日帰りを実施。自然の中で子ども自身が感じ、考え、行動することで自己肯定感を育み、家庭や学校

での生活がより安心して心地よいものになることを目指しています。親子で同じ体験を共有することも、大きな特徴の一つです。

▼詳細はこちら



### 主催

NPO法人

ホールアース自然学校



頑張る仲間をみんなで応援！



洞窟の中で、どうして洞窟ができるのかレクチャーを受けます



森の中にある植物を沢山知りました

# ユニバーサルビーチプロジェクト

実施回数：2回

場所：霧島錦江湾国立公園  
重富海岸（鹿児島県始良市）

参加人数：13名

## 概要

障がいのある人もない人も、誰もが一緒に安心して海を楽しめる「ユニバーサルビーチプロジェクト」を霧島錦江湾国立公園内にある重富海岸で実施しました。ビーチマットや水陸両用車いすなどの特別な道具を活用し、車椅子に乗った方でも遠浅の砂浜から海に入ることができ、家族や友だち、そしてサポーターと一緒に海で遊びました。選択肢に「海で

遊ぶ」をつくる、このユニバーサルビーチプロジェクトの取り組みの尊さを実感するとともに、JEEFとしても引き続き参画していきたいと考えています。

▼詳細はこちら



## 主催

NPO法人

くすの木自然館



視覚に困難のある方も楽しんでいただきました



サポーターも一緒に、輪になって！



家族と一緒に遊べる海に、おおはしゃぎ

# 屋久島おやこキャンプ

実施回数：2回

場所：屋久島・種子島

参加人数：1回目：11名

2回目：9名

## 概要

様々な事情により自然体験の機会が限られている子どもたちのために、1週間のキャンプを実施しました。屋久島町のひとり親家庭の子どもたちを対象とした特別枠を設け、そうでない子どもたちと一緒に、テント泊をして、食事も自分たちで用意し、海や山で遊んだり、ウミガメのたまごが還るところを観察したり、ロケット発射台のある種子島で宇宙

について学んだり、大自然を満喫。初日とは見違えるほどたくましくなりました。

▼詳細はこちら



### 主催

認定NPO法人

HUB&LABO Yakushima



みんなで一緒に、力を合わせてペットボトルロケットづくり！



飛び込む子もいました！



目的地である「太鼓岩」に到着！美しい眺めを背後に写真をパシャリ！

# 探究ワークショップ キャラバン

実施回数：10回

場所：青森県・宮城県・  
東京都・愛知県・三重県

参加人数：約150名

## 概要

経済状況や多子家庭、居住地域、病院や児童養護施設、あるいは他の子に迷惑をかけてしまうのが不安だから等の理由で、外部のイベントに参加しにくい子どもたちがいます。そして、そういった子に合わせて我慢をしているきょうだいたちがいます。

ELMSセンター（※）では、各地の指導者と共に、すべての子どもたち

が学ぶことの楽しさを知り、将来への希望が高まるようなワークショップを提供しています。

※JEEF内にある探究的な学びのセンター

▼詳細はこちら



## 共催

各地のELMSリーダー



普段なかなか出会えない探究に前のめりの子どもたち



いろいろな石を観察して、自分のお気に入りを探す



液体の実験をする子どもたち

# はじめての自然学校

実施回数：6回

場所：青森県・長野県・福井県・  
栃木県・神奈川県・三重県

参加人数：88名

## 概要

様々な理由により自然に触れる機会の少ない子どもたちを対象に、日帰りの体験の場を全国で実施しました。6か所の自然学校に運営を担っていただき、清流・宮川での川遊びや鮎のつかみ取り、親子での自然体験、若者たちによる焚火や食事づくり、「おうち自然学校」など、多様な自然体験と環境教育プログラムを行いました。こうした体験を通して

体験機会の格差を是正し、子どもたちのセンス・オブ・ワンダーを育むことを目指しました。

### 主催

- ・NPO法人つがる野自然学校
- ・NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター
- ・NPO法人サンカクシャ
- ・とちぎ子ども自然体験活動ネットワーク
- ・みんなのアウトドア
- ・NPO法人大杉谷自然学校

▼詳細はこちら



舞い上がるイチョウの葉で楽しく遊んでいます



魚は観察ケースに入れて観察しました



焚火をかこんで

# オンライン 生きもののクラブ

実施回数：6回  
場所：オンライン  
参加人数：年間登録者数  
約20人

## 概要

小児がんなどの重い病気と闘う子どもたちは、免疫の関係から自然や生きものに直接触れることが難しく、屋外での遊びにも制限があります。また、長い治療の中で同世代の友だちと遊ぶ機会が少ない子もいます。そのような子どもたちときょうだいが一緒に参加し、同じ境遇の全国の仲間と一緒に、生きものの魅力に出会うオンライン上の学びとつながり

のコミュニティです。

▼詳細はこちら

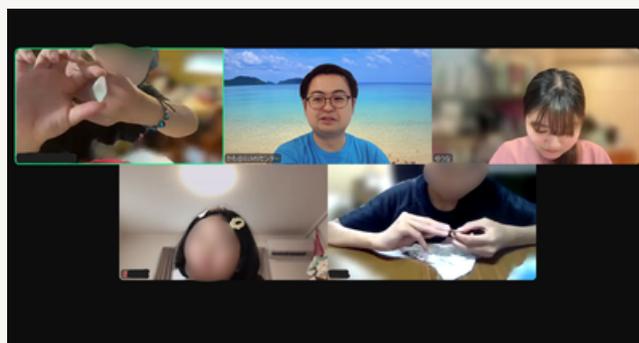


### 共催

認定NPO  
シャイン・オン・キッズ



第1回：足は何本？どこから生えているかな？自分だけの「ハチ」をクラフトしました



第2回：ヤコウガイのかけらを一生懸命磨いて、ピカピカなペンダント作り



第3回：講師のレクチャーを聞いて、ウミガメの見分けにチャレンジ！

# 森で学ぶ サステナビリティ

実施回数：2回

場所・参加人数：

宮城県・鳴子 10名

山梨県・清里 17名

## 概要

ストレス社会で日々頑張る大人が、森に身をゆだねて心と体を整えながら“自然と共にある暮らし”を見つめなおすプログラムです。森林浴でのリフレッシュを通じて森の持つ力を学び、大木の伐倒体験や遊歩道の整備などの森を守る活動を行いました。一人ひとりが、日常に戻ってからサステナブルな暮らしを実現するためのヒントを探りました。

▼詳細はこちら

鳴子



清里



## 共催

宮城県・鳴子：

NPO法人しんりん

山梨県・清里：

公益財団法人 キープ協会



間伐した後、枝葉のすきまからやっと見えた青い空を見上げます



もみの葉を使った森の香りのお土産、エアフレッシュづくり



焚き火を囲みながらの対話の時間

# 大人のプチ遠足

## ～花とジビエとサステナビリティ

実施回数：1回  
場所：神奈川県川崎市  
参加人数：20名

### 概要

忙しい日々の中でも、地球にもわたしにもやさしくありたい——自然と調和したライフスタイルの在り方について学び考える、大人向けのイベントを開催しました。季節の花が彩るオーガニックフラワーファームでの花農家体験や、自然体験フィールドでのジビエ製品を取り入れたBBQ講座から、消費や購買、イベント参加などを通してできる環境への

アクションを考えました。参加者同士で語り合い、自然の中でリフレッシュしながら、わたしたちの暮らしを見つめなおす1日となりました。

▼詳細はこちら



### 共催

NPO法人  
国際自然大学校



初対面同士でも、コミュニケーションがはずみず



花園での仕事を体験します



オーガニックの花園で栽培の工夫や、自然とともにある暮らしについてお話をうかがいました

# 【BBQの聖地】で楽しむ ウェルビーイング アウトドア体験

実施回数：2回  
場所：神奈川県川崎市  
(黒川青少年野外活動センター)  
参加人数：23名

## 概要

ストレス社会で日々頑張る大人に向けて、自然体験を通じた癒しとリフレッシュの機会を提供することを目的に実施しました。焚火の火起こしやBBQ、珈琲の焙煎・抽出など、アウトドアならではの体験を自らの手で行い、五感を使いながら学びを深めました。体験を通して「やってみる」ことの楽しさや発見を味わい、参加者同士の交流も自然に生まれる

時間となりました。心と身体を整え、日常を前向きに過ごすためのきっかけを得られる、ウェルビーイングを大切にしたいプログラムです。

▼詳細はこちら



共催  
NPO法人  
国際自然大学校



手のひらで温度を確認する練習中



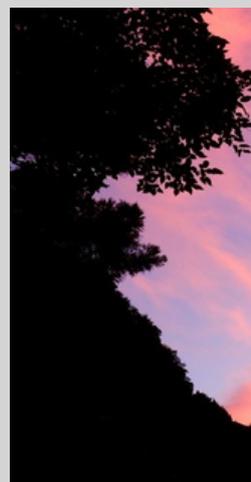
地物のお野菜と新鮮なお肉♪



こんがりとした色になるまで煎った豆。自分で煎った豆は愛着がわきます！



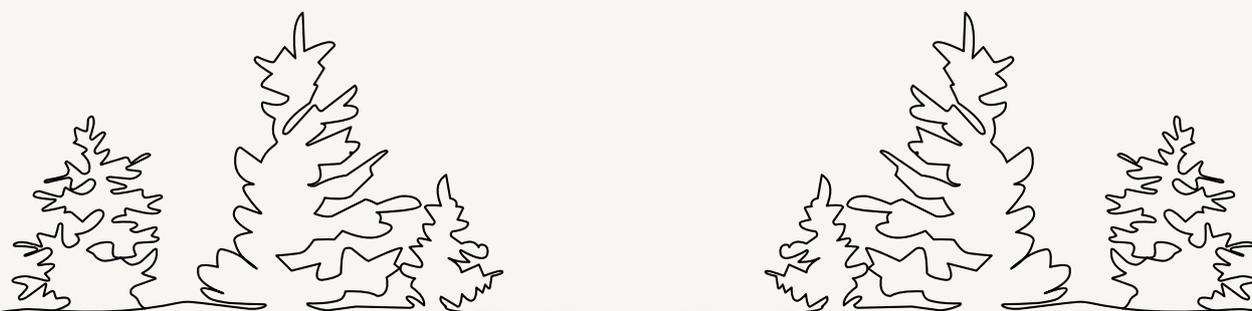
「自然体験活動をさせたい」と考えている大人は9割を超えているにもかかわらず、様々な要因から実際に行うことが難しいという現状があり、子どもの自然体験は全国的に減少しています。皆さまからの温かいご寄付は、一人ひとりの体験を支える力として活用させていただいています。JEEFは全国の仲間と共に、身体的・経済的・地域的な理由等で自然とふれあう体験が少ない方々への機会提供のため、**誰ひとり取り残さない環境教育・自然体験の活動を今後も続けてまいります。**



# 人を育てる、世界を変える。



皆さまからのご寄付がこのような活動の支えとなっています。  
ぜひ、継続的なご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 教育の力で、環境問題を解決する。

Creating sustainable society through environmental education.



公益社団法人  
日本環境教育フォーラム  
J.E.E.F Japan Environmental Education Forum



お問い合わせ先

e-mail : [charity-m@jeef.or.jp](mailto:charity-m@jeef.or.jp) TEL : 03-5834-2897

担当：総務部 中野、垂水